

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍で地域との交流の機会がなくなっている	コロナが終息し市町村事業ができるようになれば、今までのように、地域の人と交流できる場を作っていく	①地域活動への参加 (いきいき元気塾、サロンなど) ②外出の検討 (個々の楽しみとして買い物等計画的に行うなど)	1 2ヶ月
2	10	家族には手紙を送ったり、電話連絡もしているが、報告漏れもある	今まで以上に密に連絡、報告を行い、安心感や信頼関係を深めていく	①受診までの経過報告と、結果の報告、内服の変更など細かい所まで連絡を入れる また、後日の経過を伝えていく ②今まで同様、日頃の様子を伝えていく ③家族の思いを引き出せる関わりをする	1 2ヶ月
3	33	看取りの経験(1例)をしたが、今後も本人や家族の希望を聞き入れ、検討しながら、できる限りニーズに答えていけるようにする	介護の質の向上 看取りが自然な成り行きと捉えながら、日々の生活の充実を図る(入居者、家族)	①看取りに関する勉強会の継続 ②入居者本人、家族関係者などの十分な話し合いを持つ ③家族との連携	1 2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。